

## アドバンス助産師チェックリスト評価表記入要領

アドバンス助産師認定受験者は分娩中にリアルタイムでパルトグラム・カルテの記載に心掛け、分娩後にカルテ記載を速やかに終了する。分娩後 2 時間以内に担当医師と共にパルトグラム、電子カルテ記載内容を確認し、チェックリスト評価表に自己評価をおこなう。

### 医師による評価

評価担当医師は産婦人科専門医もしくは同等の産科技術を有する医師とする。分娩担当医師は太枠のチェック項目（必須項目）に○、△、×を記入する。△、×の項目についてはその場で受験者にフィードバックする。分娩担当医師が交代する際は引継ぎを行い、それまでの経過について評価しておく。受験者は指摘された問題点について症例レポートにそのポイントを記載する。

### 他評価者による評価

外回り、ベビーキャッチの上級助産師が行う。該当者がいない場合は空欄とする。

症例によっては、受験者の勤務交代や他分娩の都合で分娩終了まで終えないケースでも分娩に携わった範囲での評価をおこなう。

### 注) 評価の要点について

- 1) 外来での妊娠経過からの情報を読み取り、入院の可否、分娩経過予測を適切に判断できているか、
- 2) 産科合併症、妊娠糖尿病、感染症検査結果などから、他科との連携、医師への報告の必要性などが判断できているか
- 3) しっかりした内診技術が習得されているか（他評価者と所見が一致しているかが重要）。内診の時期が適切であったかも評価する。
- 4) 空欄でも良い。超音波検査を行った場合、その目的と所見が記載されているか
- 5) 絶食状態が長時間に及んだ際、補液量やビタミン補給に配慮したか
- 6) 微弱陣痛、過強陣痛などの陣痛評価とその対応が適切であったか
- 7) CTG でのレベル分類で評価したか